

# 第9号



日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

## 安藤たい作 ニュース

### 安藤たい作、「行財政改革特別委員会」で初審議

# 「ニーズ」でつちあげ、勝ち組 支援にひた走る品川区って何だ!?

ひと月20万円もかかる「ケアホーム」  
建設に固執する品川区。ムムム...

品川区議は「常任委員会」の他、「特別委員会」にも所属することになっています。現在設置されている特別委員会は3つ。「自治制度」「街づくり」「行財政改革」の各特別委員会です。私安藤たい作は、所属の「行財政改革特別委員会」に初出席しました。

規定によりまずと特別委員会は「必要に応じて特定の事件を審査するため設置され、設置目的の特定事件の審査が終了すれば消滅する」となっています。行革特別委は「公有地等の活用に関すること」や「民間委託等に関すること」を話し合うとのこと。「民間開放」

や「小さな政府」先にありきの委員会?と、少々釈然としないところもありますが、ここ品川でも吹き荒れる市場原理至上主義政治に歯止めをかけるという立場で、委員会の中で奮闘したいと思います。日本共産党からはいいぬま雅子・なかつか亮両区議も「緒です」。

十一月十日の審議では、主に大井地区の小中一貫校建設により統廃合となる原小学校の跡地の活用問題について話し合われました。区はここに、低所得者でも入所できる特別養護老人ホームではなく、ひと月20万円も滞在費用がかかるケアホーム(有料老人ホーム)を建設する計画に固執しています。いわく、「多様なニーズにこたえるため」。しかし、選挙中でも日本共産党が指摘したように、特養ホームの待機者は450名、一方ケアホーム待機者は30名。しかもこの30名もすでに決まっている建設予定で全て解消される予定です。「なぜに多くの区民が建設を待ち望んでいる特養でなくケアホームを造るのか。どこにニーズがあるのか」といういいぬま区議の追及に区はまともに答えられません。脳内でニーズなるものをでつちあげ、区民の本当の要求には耳を貸さない品川区の姿勢を目の当たりにし、ア然とさせられました。



漫画：安藤たい作

**安藤たい作プロフィール** '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

**安藤たい作ニュース** は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。